

平成18年度 決算報告書

貸借対照表

Table with columns for 借方 (Assets) and 貸方 (Liabilities/Equity), including sub-columns for 金額 (Amount) and 科目 (Item). Rows include 現金当座, 預金, 有価証券, etc.

資金収支計算書

Table with columns for 勘定科目 (Account Item) and 金額 (Amount), including sub-columns for 合計 (Total), 本部 (Department), みやこ学園 (Miyako Gakuen), 中心施設 (Center Facility), and 分場 (Branch). Rows include 経常収支, 非常収支, 予備費, etc.



学園だより

第71号

みやこ学園

平成19年

知的障害通所授産施設

8月発行

社会福祉法人 みやこ福祉会

6周年のあゆみと今後の展望

施設長 伊志嶺博司



早いもので、みやこ学園が開所して去った7月31日で6周年を終え7周年目に入ります。その間いろいろな出来事や行事などを行い、沢山の関係者や地域の方達にお世話になりながら歩んできました。振り返ってみますと、平成8年に宮古島では初めての無認可の小規模福祉作業所「腰原福祉作業所（5名）」の開所に始まり、障害者や保護者の方達が気楽に立ち寄って語り合える場として、ふくしの店「こしはら」を平成11年に立ち上げ、腰原福祉作業所や宮古の福祉施設（あけぼの学園・ふれあいの里）の製品等を展示販売して来ましたが、腰原福祉作業所の利用者も年々増え、無認可であるが故、財源も乏しく職員も半ボランティア精神で頑張ってきましたが、今後益々利用者が増えてくる事が予想され、平成11年2月に作業所を法人化にすべく準備会を結成し、県福祉部担当課のアドバイスを受けながら、準備会のメンバーで何度も真剣な話し合いを重ね、平成13年3月に念願の法人格「社会福祉法人みやこ福祉会」を沖縄県より認可して頂きました。みやこ学園の開所は、同年の8月に開所致しました。しかし、みやこ学園の利用者定員は40名であり、在宅を余儀なくされている親等からは、我が子も地域に出て仲間との触れ合いや作業を通し、日中活動させたいとの相談が数多くあり、それに迅速に 대응するため理事の皆さんと話し合い「分場」を立ち上げていく事を理事会で決定し、早速県の担当課と協議して、紆余曲折はありましたが平成16年5月に沖縄県より認可を頂き、19名の在宅者が分場「アダナス」に通えるようになりました。アダナスでは、パンの製造販売を通じ地域の方達ともふれあいの場が持てるようになり、利用者の方達も生き生きとして仕事に取り組んでいます。又、この分場「アダナス」の設立に対し多大な財政的協力を頂いた滋賀県在住の谷村知行氏の功績に心から感謝致します。今後は、日中活動をもっと充実したものにすると同時に、生活の場いわゆる親を離れて自立出来るようなアパート住まいや数人の仲間と世話をする人と共に住むグループホーム等も検討していきたいと思っております。これからは親の会をはじめ行政や地域の皆様方には、いろいろと御支援・御協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

みやこ学園創立七周年に寄せて

初代理事長 松川英世



月日が立つのは早いもので、平成十三年八月に開園したかと思えば、もう七年を迎えております。ここに至るまでの伊志嶺施設長、職員、親の会の皆さんに心から敬意と感謝を申し上げます。

私も初代理事長として、二年近く関わりましたが、宮古における初めての知的障がい者の授産施設として、利用者の視点に立った学園運営を伊志嶺施設長と試行錯誤しながらやってきたことが走馬燈のように思い出されます。今では、授産活動も安定し、一般就労で社会参加している利用者もおり、みやこ学園の役割が、地域に於いて益々重要になってきております。今後とも、初心を忘れず職員一丸となって、利用者一人一人の個性を大事にしながら、楽しく、夢のあるみやこ学園であってほしいと願っております。

みやこ学園と歩む親の会

みやこ学園親の会会長 本永安子



連日暑い日が続いておりますが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。みやこ学園親の会も結成して、早いもので7周年を迎えます。これも偏に会員やみやこ学園の職員・地域の皆様方のご協力のお陰だと心から感謝申し上げます。

又、みやこ学園の伊志嶺施設長はじめ職員一丸となって施設利用者一人一人の個性を生かした支援に日々取り組んでいることを親として大変心強く思っています。さて、昨今、国や自治体は財政難に苦しみ、障害者にも負担を求める障害者自立支援法が施行され、施設運営も支援費の支払方法が月割りから日割りに変更されたため、大変厳しいと思っておりますが、職員・親の会がしっかりスクラムを組めば、私達の子供達が生き生きと幸せな日々を過ごせるみやこ学園の環境作りが出来ると思っています。今後とも会員一同みやこ学園の諸行事等にも積極的に参加し「ゆいまーる」の気持ちでご協力して行きたいと思っておりますので、会員の皆様方のご協力をお願いします。

# 8月の行事予定



1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	工賃支給日
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	散髪(女性)
15	水	散髪(男性)
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	夏まつり
20	月	振替休日
21	火	
22	水	
23	木	大掃除
24	金	大掃除
25	土	お盆
26	日	お盆
27	月	お盆休み
28	火	
29	水	山中公園除草・救命講習会 施設内健康診断
30	木	
31	金	



砂川絵美さん

☆砂川絵美さん(26歳)  
お誕生日おめでとうございます。  
「おはようございま〜す。」と元気にアダナスに出勤する絵美さん。いつも元気をもらっています。  
アダナスでは包装作業を頑張っています。家族の話や色々な話をしてくれて心優しい絵美さんです。  
いつもありがとう。作業支援員：砂川早苗



池村美保さん

☆池村美保さん(20歳)  
お誕生日おめでとうございます。  
祝20歳!大人の仲間入りですね。  
アダナスでは、成形担当として頑張っていて今では、ほとんどの種類の成形が出来るようになっていきます。笑顔で自転車を通ってくる小柄でチャーミングな美保さんです。いつもありがとう。

作業支援員：砂川早苗

## 野外活動でリフレッシュ

作業支援員：大城英信

去った7月18日(水)宮古少年自然の家で野外活動を行いました。午前中は、バーベキューの準備をし、その後おいしくいただきました。午後からは、思い思いのレクリエーションを楽しみ有意義に1日を過ごしました。心身のリフレッシュが出来た事と思います。お疲れ様でした。



手作りのアキュレーションに挑戦するのは「砂川楓子」。

## JTAより「うちわ」のプレゼント



学園ロビーにて「園芸班の皆さんへ贈呈式」



今年も日本トランスオーシャン航空宮古支社よりうちわ200枚を頂きました。来る19日(日)にみやこ学園では「夏まつり」を予定しており、そのときのプログラムをうちわに貼り付け、ご来場のお客様に配る予定です。

暑い暑い毎日をうちわの涼風で吹き飛ばし、これからも頑張っていきます。ありがとうございました。

庶務課長 宮平浩賢

## 振り返って

庶務課長 宮平浩賢



6年というのがこんなに早いものだったのかと、改めて時の早さに驚いております。毎朝、出勤してきて「昨日の夜は何を食べたか?今日の朝は何を食べたか?」と聞くTさん。事務室のカレンダーの数字を次々に指さしながら「仕事?仕事?」と確認するYさん。いつもの場所にイスがないとパニックしてしまうMさん。酒で失敗を何度も繰り返すYさん。「何で毎日同じ事を聞くのだろう?」「イスが無くていいじゃない?」失敗の度に『反省している』と何度聞いたことやら。と以前は何故かイライラしていた自分がいました。  
利用者と付き合ううちに「これが障害なんだ。だからみやこ学園があるんだ」と思えるようになり、これからは楽しく真剣に遊ぼうと思っています。

## 6年間を振り返って

分場長 友利 聡



6年間には、色々な出来事がありました。特に強烈に印象に残っているのが平成15年9月の台風14号ではないかと思っています。朝出勤途中からある程度の被害は予想していましたが、学園に到着すると横倒し状態のビニールハウス、25人乗り大型バスやトラックの横転等々、あまりの目を疑うような光景に言葉を失い、目の前が真っ暗になる状況でした。現在は、皆様のご協力ハウスも新品になり授産活動に励んでいるところです。  
もう一つは、みやこ学園分場「アダナス」の開所です。分場長として重大な責任と初めて挑戦するパン作り。「パンは食べるだけ」と思っていた私には相当のプレッシャーだった記憶が残っています。現在は、職員にも恵まれ又地域の皆様にも「アダナス」のパンは上等で安心して美味しいと評判になっているところです。今後は、私達の夢でもある一人でも多くの利用者が地域の職場で働き、安心して仕事や生活が出来るようより一層支援をしていきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

## 7年目の抱負

支援課長 瀬名波正敏



私は、平成16年に学園に入り現在4年目を迎えておりますが、当初、利用者の顔と名前を憶えるのに必死だった頃が懐かしく、時の流れを「はやいものだな。」と実感しています。利用者が、学園行事やスポーツ大会などに参加することで、日頃見えなかった部分の発見や、イキイキと行事に参加している姿など、とても印象深いものがあります。それから、学園全体が事故や事件も無く、無事に過ごせてきたことも大変嬉しいことです。  
節目を迎えるにあたり、初心を忘れることなく原点に戻り、これから自分が何をすべきか、何が求められているのかを見つめ直して、利用者に関わっていきたくと考えております。又、保護者の皆さんとも交流の機会をもちながら、取り組んでいこうと気持ちを新たにしているところです。

## 職員紹介



職員アダナス(左から分場長 友利聡 支援員 長浜慶 砂川早苗 池田恵美 パート勤務下地富士美・黒澤由香)

職員学園(前列右より康彦 眞那 眞 施設長 伊志崎 博司・康彦 西里恵子・ジョブコーチ 神里裕太・中列右 生活支援員 砂川里子・支援員 高江朝純子・後列右より 康彦課長 宮平浩賢・支援員 大城英信・支援課長 瀬名波正敏・支援員 知念 聡・生活支援員 根間文幸・支援員 小椋和則・パート勤務 濱川 昇)